

# 飼料用トウモロコシの新しい奨励品種「長交 C980」と 優良品種「タラニス」は収量性が高い

福島県農業総合センター 畜産研究所飼料環境科

部門名 飼料作物一飼料作物一品種

担当者 遠藤幸洋・吉田安宏・片倉真沙美・武藤健司

## I 新技術の解説

### 1 要旨

本県の気象条件等に適した品種の選定を行うことにより飼料自給率の向上を図るため、飼料用トウモロコシ栽培試験を実施し、「福島県優良品種(輸入 F1 サイレージ用トウモロコシ)総合評価基準」(平成 17 年改訂)に基づき評価した結果、「長交 C980」及び「タラニス」が優良な品種であることを認めた。

各品種の主な生育特性は以下のとおりである。

#### (1) 長交 C980(晩生品種)の特性

ア 出芽から刈り取り適期である黄熟期までの日数が、約 122 日の晩生タイプである(表1)。

イ 乾物収量は、標準品種と比べ約 6%多く、10 アール当たりの総乾物収量は 2,216kg である(表2)。

ウ 耐病性は、標準品種と比べ、紋枯病はやや弱い傾向があるが、その他病害は同程度である(表3)。

#### (2) タラニス(極早生品種)の特性

ア 出芽から刈り取り適期である黄熟期までの日数が、約 101 日の極早生タイプである。(表1)。

イ 乾物収量は、検定品種平均と比べ約 4%多く、10 アール当たりの総乾物収量は 1,836kg である(表2)。

ウ 耐病性は、検定品種平均と比べ、根腐病はやや強い傾向があるが、その他病害は同程度である(表3)。

### 2 期待される効果

飼料作物の収量性の向上により安定した自給飼料生産が期待できる。

### 3 適用範囲

平坦部の飼料用トウモロコシ一期作地帯

### 4 普及上の留意点

- (1) 適期播種を行い、病害や倒伏を軽減するために栽植密度は、長交 C980 は 6,000 本/10a、タラニスは 7,800 本/10a 以下とする。
- (2) タラニスと長交 C980 のいずれの品種も紋枯病多発地帯での栽培は避ける。
- (3) 早晚生のタイプはカタログの RM 値によって分類しているが、品種選定に当たっては生育日数も考慮する。
- (4) 長交 C980 は品種登録名「タカネフドウ」として販売されている。

## II 具体的データ等

表1 飼料用トウモロコシ「タラニス」と「長交C980」の生育特性(3年間平均)

	RM (カタログ)	生育日数(日)			桿長 (cm)	着雌穗高 比率(%)	倒伏・折損率			合計
		播種～出芽	出芽～絹糸	出芽～黄熟			倒伏率	折損率		
<b>極早生</b>										
	検定品種平均※1	9.1	60.0	102.3	258	45.2	0.5	0	0.5	
	検定品種									
	タラニス	95	9.3	59.7	101.3	256	43.5	1.0	0	1.0
<b>晩生</b>	標準品種									
	31N27	125	10.3	64.7	120.7	271	43.9	0	0	0
	TX158	125	9.3	72.0	125.3	283	48.0	0.5	9.7	10.2
	検定品種									
	長交C980	125	9.3	68.0	122.0	286	51.1	0.5	0.9	1.4

※1:極早生品種は標準品種がないため、極早生の検定品種TH677、38H20、あおぞら、タラニス、TH875、38V52の平均

表2 飼料用トウモロコシ「タラニス」と「長交C980」の乾物収量(3年間平均)

	乾物重量(kg/10a)			乾物収量※2 対標準品種 比率(%)	TDN収量	乾物率(%)			乾雌穗重 割合(%)
	茎葉	雌穂	総収量			茎葉	雌穂	全体	
<b>極早生</b>									
	検定品種平均	831	939	1770	1282	25	56	34	53.1
	検定品種								
	タラニス	869	967	1836	103.8	1328	20.5	55.2	30.5
<b>晩生</b>	標準品種								
	31N27	1039	1061	2100	1507	21.5	61.1	31.9	50.5
	TX158	1076	1011	2087	1486	20.4	60.8	30.1	48.4
	標準品種平均	1057	1036	2094	1496	21.0	61.0	31.0	49.5
	検定品種								
	長交C980	1200	1016	2216	105.8	1562	22.9	60.2	32.0

※2:各早晚品種毎の比率(ただし極早生品種は標準品種がないため、極早生の検定品種平均と比較した比率)

表3 飼料用トウモロコシ「タラニス」と「長交C980」の病害発生程度(3年間平均)

	すす紋病 (1～9)※3	ごま葉枯病 (1～9)※3	黒穂病 (%)	根腐病 (%)	すじ萎縮病 (%)	紋枯病 (%)		
							極早生	標準品種
	検定品種平均	1.0	1.1	0.1	2.6	0	10.3	
	検定品種							
	タラニス	1.0	1.3	0	0	0	10.8	
<b>晩生</b>	標準品種							
	31N27	2.0	1.6	0.9	0	0	10.1	
	TX158	1.3	1.3	0.2	0.5	0	8.2	
	検定品種							
	長交C980	1.2	1.3	1.2	0.9	0	15.6	

※3:病害がみられないものを1、甚だしいものを9として表示

## III その他

### 1 執筆者

遠藤幸洋

### 2 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成21年度～25年度
- (2) 研究課題名 飼料用トウモロコシ奨励品種選定試験

### 3 主な参考文献・資料

- (1) 平成21年度～22年度、25年度センター試験成績概要